

経費回収率の向上に向けたロードマップ

区分		内容	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
経営戦略	計画期間	計画期間は10年間													
	進捗管理 (モニタリング)	収支計画の進捗状況を モニタリングする。													
	経営戦略の改定	5年ごとに検証し、改 定に反映する。	検証	改定				検証	改定				検証	改定	
数値目標	経費回収率 (全事業)	使用料改定の実施等により改善を図る。	53.6% 実績						57%以上 目標						
	参考 ※1	経費回収率 (一般汚水)	使用料改定の実施等により改善を図る。	69.3% 実績						78%以上 目安					
		経費回収率 (皮革汚水)	使用料改定の実施等により改善を図る。	31.3% 実績						32%以上 目安					
	水洗化率		水洗化啓発の実施により改善を図る。	95.4% 実績						96%以上 目標					
	経常収支比率		経常収支比率100%以上を維持する。	104.1% 実績						100%以上 目標					
収入増加のための取組	使用料改定 (一般汚水) ※2	おおむね5年ごとに使用料改定を実施する。		検証	改定				検証	改定				検証	
	使用料改定 (皮革汚水) ※2	5年ごとに県、関係市町及び業界団体と使用料改定を協議する。					協議 改定※3					協議			
	水洗化啓発		下水道未接続者へ戸別訪問による啓発や広報活動を毎年実施する。												
支出削減のための取組	処理場の統廃合	農集排10処理区のうち6処理区を流域下水道へ接続する。						2 処理区 接続予定				4 処理区 R20接続予			
	汚泥含水率の抑制		前処理場（皮革汚水）における汚泥含水率の抑制を図る。												
	人員配置の適正化 人材育成		業務の効率化を図るための人員配置や専門研修等への職員派遣を行う。												

※1 参考として、一般汚水と皮革汚水の経費回収率の目安値を記載している。

※2 一般汚水と皮革汚水の使用料改定手法が異なるため、取組を分けている。

※3 皮革汚水の令和9年度の使用料改定は、令和4年度に協議されて改定が決定している。